

淡路市志筑地区で津波訓練 高台目指し1キロ避難

高台の津名高校を目指し避難する志筑小学校の児童ら＝淡路市志筑



地域の児童、園児、住民ら600人参加

「津波防災の日」の5日、淡路市志筑地区で児童と園児、地域住民ら計約600人が参加する避難訓練があった。（社会面参照）

南海トラフ巨大地震に備え、子どもたちや住民の命を守るようと志筑小学校が企画。各種住民団体の役員らでつくる志筑地区まちづくり協議会が連携し、志筑保育園の園児や地区の学校関係者らも参加した。

午前10時前、マグニチュー

ド9.1の地震が発生し、約1時間後に最大4メートルの津波が来る—との想定で行われた。児童たちは身を守る行動を取った後、校庭に集合。大津波警報の発令を受け、約1キロ離れた津名高校を目指し出発した。避難場所への道のりを示す緑色のラインをたどり早足で高台へ。市消防団志筑分団員らに誘導され、15〜20分ほどで到着した。

整列し点呼を終えた子ども

もたちに、志筑小の山本哲也校長は「まちの人が力を合わせて備えれば、命を守ることができる。子どもでもできることがあるはず」と呼び掛けている。

（内田世紀）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前

① この記事によると、11月5日は何の日ですか。

② この避難訓練は、どのような想定で行われましたか。

③ 避難場所への道のりを示すものはなんですか。

④ この記事を読んだ感想を書きましょう。